

AXIS A4020-E Reader

ユーザーマニュアル

AXIS A4020-E Reader

設置

設置



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

help.axis.com/?&piald=70685§ion=install

デバイスのインストールビデオ

配線

表に従って、リーダーからドアコントローラーに配線します。

AXIS A4020-E AXIS A4120-E	AXIS A1001	その他のAxis ドアコントローラー
B	A	B
A	B	A
+	12 V	12 V
-	-	-

AXIS A4020-E Reader

デバイスを構成する

デバイスを構成する


このデバイスは、すぐに使用できる標準のOSDPリーダーとして機能します。AXIS Camera Station Secure Entryで特定の機能にアクセスし、設定を変更できます。以下に、AXIS Camera Station Secure Entryを使用してデバイスを設定する例を示します。

暗号化通信

OSDPセキュアチャンネル

AXIS Camera Station Secure Entryは、OSDP (Open Supervised Device Protocol) セキュアチャンネルに対応し、コントローラーとAxisリーダー間の回線暗号化をアクティブにします。

システム全体でOSDPセキュアチャンネルをオンにするには:

1. [Configuration > Access control > Encrypted communication (設定 > アクセスコントロール > 暗号化通信)] に移動します。
2. メインの暗号化キーを入力し、[OK] をクリックします。
3. [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)] をオンにします。このオプションは、メインの暗号化キーを入力した後にのみ使用できます。
4. デフォルトでは、メインの暗号化キーによってOSDPセキュアチャンネルキーが生成されます。OSDPセキュアチャンネルキーを手動で設定するには:
 - 4.1 [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)]で、 をクリックします。
 - 4.2 [Use main encryption key to generate OSDP Secure Channel key (メイン暗号化キーを使用してOSDPセキュアチャンネルキーを生成する)] をクリアします。
 - 4.3 OSDPセキュアチャンネルキーを入力し、[OK] をクリックします。

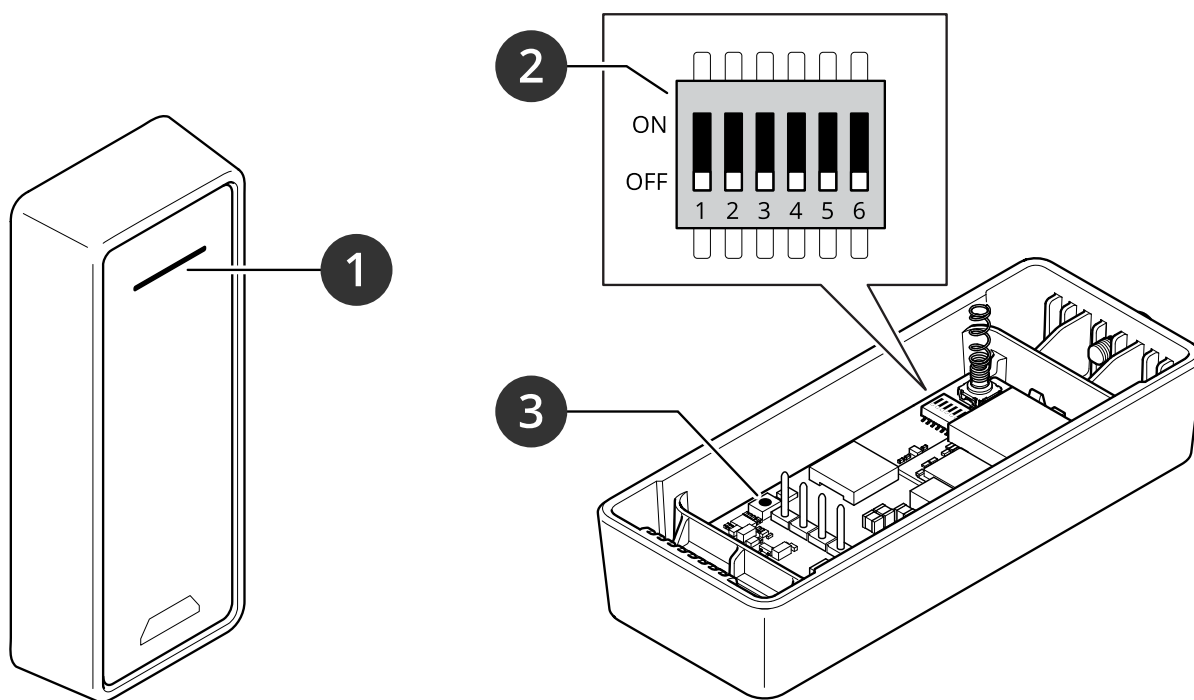
特定のリーダーでOSDPセキュアチャンネルをオンまたはオフにする方法については、[ドアとゾーン](#)を参照してください。

AXIS A4020-E Reader

仕様

仕様

製品概要



- 1 リーダーインジケーターストライプ
- 2 DIPスイッチ
- 3 コントロールボタン

リーダーインジケーターストライプ

挙動	状態
赤で点滅	コントローラーの接続を待っています

DIPスイッチ

DIPスイッチ	デフォルト設定	機能	
1	オフ	OSDP アドレス Off + Off = 0* Off + On = 1 On + Off = 2 On + On = 3	
2	オフ		
3	オフ		RS485 終端処理、Off = アクティブ
4	オフ		-
5	オフ		-

AXIS A4020-E Reader

仕様

6	オフ	セキュアモード
* スイッチ1と2の両方をOffに設定すると、osdp_COMSETを使用してアドレスを変更できます。		

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使します。

- ・ 製品を工場出荷時の設定にリセットする。を参照してください。

ボーレート

デフォルトのボーレートは9,600です。この値を変更するには、osdp_COMSETコマンドを使します。

AXIS A4020-E Reader

トラブルシューティング

トラブルシューティング

工場出荷時の設定にリセットする

工場出荷時の設定へのリセットを行うと、すべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

help.axis.com/?&piald=70685§ion=install

1. バックプレートからデバイスを取り外します。これにより、デバイスが電源から切断されます。
2. バックプレートからコネクタを取り外します。
3. コントロールボタンを押しながら、鋭利でない器具を使用してターミナルブロックをデバイスのピンに接続することで、デバイスが電源に再接続されます。を参照してください。電源に再接続されると、短いビープ音が鳴ります。これは、コントロールボタンが押されていることを示します。
4. そのままコントロールボタンを数秒間押し続けます。
5. コントロールボタンを放します。再びビープ音が鳴ります。これは、デバイスが工場出荷時の設定にリセットされたことを示します。
6. ターミナルブロックをバックプレートの所定位置に置きます。
7. デバイスをバックプレートに取り付け、ユニットのふたをゆっくりと閉じます。

